

2023.1.13

防災講話

副校長 森元隆之

全校のみなさん、こんにちは。

先日の「災害安全教育」における「阪神淡路大震災からの教訓～近年の災害の特徴と災害時のリスクについて・実践例から学ぶ災害時に中学生が取り組めること～」の講師、公益財団法人「ひょうご震災記念 21 世紀研究機構 人と防災未来センター」主任研究員の河田慈人さんのお話を聞いて何を感じましたか？ みなさんの振り返りアンケートを読ませていただくと、「実体験の話を聞いて当時の怖さがよくわかりました。」「災害時の避難のタイミングや気を付けるべき内容がよくわかりました。」「枕元にライトを置いておくという話はなるほどと思いました。」「自分の防災パックも見直してみようと思います。」など、とても真剣に、また素直に受け止めてくれたことがわかり安心しました。それは自分や他人の「命」を最も尊重すべきことだととらえられている証拠でもあります。学校だよりの校長先生のお話の中にも、東日本大震災で命を失わずにすんだのは、「日常の避難訓練で学んだことを生かして身に付けた主体的な判断と行動」とありました。みなさんも、この訓練の積み重ねが、命を守る行動につながっていることを改めて認識して、今後も臨んでいきましょう。